

「保育所待機児童解消モデル事業」の1つとして、

## 横浜保育室の整備費を助成します。

…事業者を募集！

### —0歳～2歳児の待機児童解消へ向けて—

- ・ 0歳～2歳を受け入れる、「横浜保育室」の受け入れ枠を増やすための取り組みとして、今年度、整備費の助成を行います。
- ・ このほど、**整備費助成の対象となる事業者を募集します。**

＜整備費助成の概要＞

補助対象経費の 4 分の 3 を市から補助（補助額上限：1 か所 750 万円）

補助対象箇所：7 か所程度

#### **事業者募集説明会（新規認定および整備費助成）を 開催**

7月17日（金）（午前10時～ 場所：横浜市技能文化会館）

…来年4月開所へ向け新規認定をめざす事業者募集の説明会（※申込不要・事業者向け）  
整備費助成の詳細についても説明いたします。

※ 説明会の詳細は、横浜市こども青少年局ホームページに6月30日（火）掲載予定  
ホームページアドレス：<http://www.city.yokohama.jp/me/kodomo/incubator/yshitsu.html>

＜0歳～2歳の低年齢児待機児童の状況＞

- ☆ 保育所への入所を希望しながらできなかった人数を示す、いわゆる待機児童数が都市部では全国的に増えており、横浜市でも平成21年4月の待機児童数は、1,290人と、前年同期より583人増えています。
- ☆ このうち、87.4%にあたる1,128人が、0歳～2歳の低年齢児。

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
21年4月	143人	693人	292人	125人	28人	9人	1,290人
20年4月	49人	342人	190人	100人	20人	6人	707人
増減	94人	351人	102人	25人	8人	3人	583人

#### ◎「横浜保育室」とは…

横浜市では、認可保育所で受け入れきれない保育ニーズを吸収するために、平成9年から、同市が市独自に一定の基準で認定した認可外保育施設に対し、0歳～2歳の保育について市から助成を行っています。

参考：横浜保育室 定員数：4,087人 施設数：124か所（平成21年4月1日現在）